

技術開発課題の審議結果

分野	技術開発課題名	概要	代表提案者	審議結果
1. 海洋開発に資する設備・機器の技術開発	①遠隔離島専用超軽量輸送用コンテナに関する技術開発	遠隔離島で物資を効率的に輸送するため、小型の荷役機械に対応した、マグネシウム合金材の軽量コンテナの開発。	不二ライトメタル株式会社	実施に係る調整を進める。 (候補として採択)
	②遠隔離島における接岸・揚陸・揚重支援システムの開発	遠隔離島での荷役作業の安全性及び効率性の向上を目指した、防舷材、渡り栈橋、自動玉掛け装置の技術開発。	東洋建設株式会社	実施に係る調整を進める。 (候補として採択)
2. 海洋構造物に関する建設材料の技術開発	③低炭素化を目指した海水練り鉄筋コンクリートの耐久性の実証	材料運搬に多量の CO <sub>2</sub> 排出を伴う遠隔離島での施工に資する、海水、海砂を使用したコンクリート材料の長期耐久性実証試験。	株式会社大林組	実施に係る調整を進める。 (候補として採択)
	④遠隔離島における施設整備に用いるコンクリート技術の開発	真水や骨材など主要な材料の調達や作業員の確保が困難な遠隔離島における、コンクリートの材料及び製造の技術開発。	早稲田大学	実施に係る調整を進める。 (候補として採択)
3. 海洋構造物に関する防食技術の開発	⑤激波浪下における鋼構造物の防食技術に関する研究開発	激波浪かつ気温が高い海洋環境下においても十分に性能を発揮する、鋼構造の防食技術の開発。	東亜建設工業株式会社	実施に係る調整を進める。 (候補として採択)
4. 海洋環境の保全に関連する技術開発	⑥サンゴ礁からなる遠隔離島の生態工学的保全技術開発	遠隔離島の維持保全に資するサンゴ礁の保全技術の開発。	東京大学	実施に係る調整を進める。 (候補として採択)
5. 海洋再生可能エネルギーの実証	⑦南鳥島における海洋温度差発電プラントの実証試験	年間を通じて良好な温度差を確保できる南鳥島での出力 2,000kW 級の海洋温度差発電の実証試験。	パシフィックコンサルタンツ株式会社	資金の目途がついた段階で、具体的な実施に係る検討を進めた上で、その可否について再審議。 (条件付きで候補として採択)